



KWANSEI
GAKUIN
GLEE CLUB
RECITAL

- | | | | |
|---|--------------|----|------|
| I | 男声合唱組曲「富士山」 | 指揮 | 北村協一 |
| | I 作品 第 壱 | 作詩 | 草野心平 |
| | II 作品 第 肆 | 作曲 | 多田武彦 |
| | III 作品 第 拾 陸 | | |
| | IV 作品 第 拾 捌 | | |
| | V 作品 第 貳 拾 壱 | | |

特 別 寄 稿

組曲「富士山」について

多 田 武 彦

処女作「柳河風俗詩」に対する批評のうち、「優美だが男声合唱としては迫力に欠ける」というのがあった。そこで私は、極端に言えば、この批評に応える意味だけで、第二作はスケールの大きいものにしようと考えた。こうして出来た「富士山」は、男声合唱団泣かせの組曲になってしまった。

ところが、意外とこの組曲は愛唱されてきた。私はこれは草野心平先生の詩のせいだと思っている。(私もこれ以後、草野心平先生の詩による作品を三つ作曲している)

この組曲を歌いきるには、かなりのスタミナを要する。従来、スタミナ切れの演奏をする団体が多かった。だから愛唱されている割には名演奏を聴く機会が少ない。

今宵は、私が昔から格別の親しみをもって接している関西学院グリークラブによって「富士山」が歌われることはたいへんうれしく、同時に興味深い。演奏会のご成功と、今後ますますのご発展を祈る。